



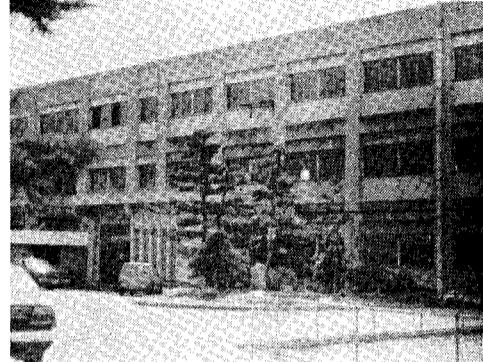
ねこやなぎ
いまい ゆうすけ
大川の岸辺
猫柳の
しなやかな小枝
しなしなと
春の風が吹きぬける
ふっくらと
綿毛の
つややかなぬくもり
つやつやと
(小須戸中学校)

中学卒業生 190名 盛大なる卒業の式典

春のおとずれとともに、新しい別れの季節が来る。町民体育館で卒業式を迎えた生徒は男子九一名、女子九九名。春は新しい出会いの季節である。

三月一三日、中学校の第二回卒業式が町長をはじめ多くの来賓の方々を迎えて行われた。卒業証書は、壇上で校長先生より、ひとりひとりに手渡される。紅白の幕、壇上を照らすフットライト、静かに流れれる音楽、整然と並んで生徒の列、晴れ着姿の保護者たち、すべてが卒業式の雰囲気を盛りたてていた。

卒業式ならではの雰囲気である。全校生徒の「タンホイザーハンス」の大合唱。それは、卒業生の門出を祝すであり、決意の表現である。校長式辞、来賓の祝辭は、卒業生に対し希望を与える、決意を促し、卒業式の意味をしっかりと、「おめでとう」と声をかけられる。握手される校長先生。それにこたえて、卒業の意味をしつかりとみしめる卒業生。そこには送る者、送られる者との調和した姿が見られる。



三年間お世話になった
なつかしの学び舎

卒業式ならではの雰囲気である。全校生徒の「タンホイザーハンス」の大合唱。それは、卒業生の門出を祝すであり、決意の表現である。校長式辞、来賓の祝辭は、卒業生に対し希望を与える、決意を促し、卒業式の意味をしつかりとみしめる卒業生。そこには送る者、送られる者との調和した姿が見られる。

こすど公民館報

小須戸町公民館
知日円所
行有行
事発見
月部栄堂
毎一昭
印刷所

業生にとつてはまたとな
い僕の言葉であった。
「友よの合唱、卒業式の
答辭、いずれも力強く、
すばらしいものである。

「はたるの光」のメロディの中を流しながら退場最高のクライマックスである。いつの世にも変わることのない卒業式における心——

今年も盛大かつ厳粛のうちに執り行われた。

卒業生の未来に幸あれと祈るや切

進学希望者 一七九名

就職等(定時制含む) 一一名

卒業式ならではの雰囲

いの中を流しながら退場最高のクライマックスである。いつの世にも変わることのない卒業式における心——

今年も盛大かつ厳粛のうちに執り行われた。

卒業生の未来に幸あれと祈るや切

進学希望者 一七九名

就職等(定時制含む) 一一名

卒業式ならではの雰囲

いの中を流しながら退場最高のクライマックスである。いつの

